開幕戦を終えて 選手のコメント紹介 2

彦根東高校新聞

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

朝日晴人君 4

朝日晴人君（2―4）は試合を振り返って「開幕戦というのは変な空気で、やりづらかった。中盤からはいつも通りの気持ちでプレーできた。最後は絶対勝つという雰囲気だった。甲子園で一勝することが目標だったので達成できてよかった」と勝利の喜びに頬を緩めた。また9回裏を「監督から指示は特になかったが、表情から『絶対打て』という気持ちが伝わってきた。松井さんが出塁したので行くしかないと思った。打順も良いときに回ってきたので、自分のやることだけをやった」と振り返った。次の試合に向けて「バッティングがまだ不完全なので自分の形を作っていきたい。絶対勝って先輩たちと少しでも長く野球をしたい」と意気込んだ。

岩本道徳君 5

岩本道徳君（3―5）は甲子園初戦を「シーソーゲームで精神的にしんどかった。9回で逆転したときは練習してきたことが発揮できたと思った」と振り返った。また9回裏について「表では負けると思ったが、裏では逆転して自分たちの野球を終わらせないと思った。打席が回ってきたとき、監督が『自分たちのやってきたことをやれ』と言われたのでいつものスイングを心がけた」と感想を話した。勝利を決めた自身のサヨナラのヒットを振り返って「県大会を含めそれまで打てなかったので、チームに迷惑をかけてしまっていたと思う。最後に安打が打てて本当によかった」と心境を打ち明けた。

原晟也君 6

原晟也君（3―8）は甲子園初勝利の感想を「4年前に先輩たちができなかったことなので、今回は絶対勝とうと思ってやってきた。目標を達成できた」と述べた。また9回裏を振り返って「松井が意地でヒットを打って、みんなそれに続こうという気持ちでやった。8・9回に点を取る練習をしていたので負ける気はしなかった。練習通りの自分たちの力が出せた」と話した。次の試合に向けて「監督が『甲子園で一勝という目標を達成したからといって慢心しないように』と言われていたように、次の試合に向けて切り換えていきたい。しっかり自分たちの力を出して勝ちたい」と意気込んだ。

高村真湖人君 7

高村真湖人君（3―8）は逆転に成功した9回裏を「監督からの特別な指示はなく力を抜いてできた。自分で決めてやろうと思って臨んだ。自分のフォアボールの後、岩本が決めてくれると思って託した。1点差で負けていたが、みんながいけるという表情をしていて負ける気はしなかった。ベンチの雰囲気でサヨナラができた」と振り返った。また次の試合に向けて「特別なことはしない。挨拶や靴をそろえるなどの基本や基礎を振り返る」といつも通りを貫き通す姿勢を見せた。